

# 郷土研究 伊丹公論

復刊 第22号 通巻41号

年4回発行 (次号は2月28日予定)

発行所 伊丹市立図書館(ことば蔵) 伊丹市宮ノ前3-17-4  
〒664-0895  
編集 伊丹市立図書館(ことば蔵) 伊丹市宮ノ前3-17-4  
072-784-8170  
伊丹公論編集委員会

## 南海トラフ地震への備えを

### 非常持ち出し袋、食料・水の備蓄必要

地震や台風、集中豪雨など大きな災害が多発した平成30年(2018)の日本列島。本市でも9月4日に来襲した台風21号は、建物や電柱、樹木の損壊といった大きな物的被害をもたらしたほか、大規模な停電、バス・電車の運休が発生、市民生活に大きな混乱を与えた。ライフラインや公共交通機関の被害・混乱は、平成7年(1995)の阪神・淡路大震災以来の大規模なものとなり、災害から身を守るための備えの重要性が改めて浮き彫りになった。



強風で倒れた樹木。昆虫館へのアクセス道をふさいだ=9月5日、昆陽池公園で

7日間停電した地区も 伊丹市危機管理室によると、台風21号は9月4日14時ごろの最大当時間雨量43mm、瞬間最大風速(秒速)42.9mmを観測。人的被害は負傷者6人、市施設被害は97件に上り住宅等の被害も多数生じた。昆陽池公園内の市昆虫館では、アクセス道が倒木でふさがれるなどして9月21日までの長期休館を余儀なくされた。



倒れた電柱(中央5丁目)

電柱倒壊などを原因とする停電は当日、2万5254の建物で発生。関西電力管内で電柱倒壊が同時に大量発生したため復旧が遅れ、市内では最大7日間停電が続いた地区もあった。

本市で停電がこれほど広範囲に長期継続するのは近年、極めてまれ。この間、停電した地区のマンションでは、給水ポンプが動かず水道が使えない不便も強いられた。また、携帯電話の充電に困る人が多く、ことば蔵は翌5日から市民にコンセントを臨時開放。ライフラインが回復して

いない人々のために夜間も施設開放を行った。

電車・バスが全面運休 公共交通機関も大きく乱れた。市内を走るJRと阪急電鉄が当日午後から順次運休した。

市バスも午後1時半から運行ストップ。翌日は停電による信号機消灯で安全が確保できないとして終日全線運休した。6日は安全が確保できたところから順次運行を再開したが、全面復旧は7日の午後6時55分となり、延べ約6万5千人に影響が出た。

市交通局によると、過去、積雪により一時運休した日があったが、これほど長期の運休は初めてという。

南海トラフ地震は必ず起きる 私たちの生活は災害と隣り合わせ。熱帯・亜熱帯海域の海水温が上昇して台風が発生しやすくなっており、次の大型台風にも備えなければならぬ。また、地震への警戒も緩めてはならない。世界で起こるマグ

### 情報入手にはSNSが役立つ

#### 本紙編集委員が停電体験

台風21号来襲当日午後3時ごろ、西台の自宅マンションで仕事をしていたら突然、停電に見舞われた。マンションが停電すると給水ポンプが動かず必然的に断水も起きた。

とりあえず冷蔵庫の残り物で夕食を済ませたが、電気はいつまでも復旧せず、トイレも使えないので、暗くならないうちに自転車で両親の住む市内の実家に帰った。実家も停電していたが、翌日には復旧。一戸建てなので断水はなく、トイレも風呂

市民べんり帳」を市内全戸に配布しているのを、改めて目を通し、災害への備えが万全かどうか確認したい。もし非常持ち出し袋の準備や食料品の備蓄ができていない人、また、家具やテレビなどの転倒防止を施していない人は、この機会にぜひ準備・実行していただきたい。

消費しながら食料・水の備蓄を 食料・水の備蓄(1週間分)は、消費期限の管理が必要でコストもかかり、面倒だと思われがちだが、ローリングストック法という、上手な方法がある。

自分好みの非常食をそろえておき、定期的な食べながら消費期限の新しいものを買い足していくものだ。これなら食品ロスも減らせる。

飲料水についても一定量をペットボトルで用意し、使ったらその分を買い足していけばよい。

災害時の情報入手が重要 災害時の避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、緊急の避難指示)は原則として、伊丹市緊急災害情報メール、緊急告知FMラジオ、市ホームページ、テレビなどで市民に知らされる。

また被害情報は必要に応じて、市がホームページ上で公開する。みなさんには緊急災害情報メールの登録も使えた。

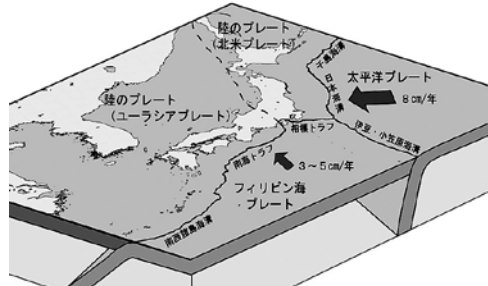
結局、自宅マンションの停電は3日後まで続き、昼間は実家にて寝るときだけ自宅に帰った。

夜間の明りには、かねて用意していたLEDの懐中電灯を使用。水は携帯ポリタンクを持参して公園で確保する。コンビニではパンや弁当類は早くに売り切れる。私は非常に用いれど、おかずになるレトルト食品をコンビニで買い、電気の復旧した実家でチンして食べた。

もう一つはスマホの充電。近くの公民館のコンセントを使わせてもらったが、ことば蔵でも充電できたと後で知った。

停電解消の情報源は、SNSのフェイスブック地域グループ「伊丹つながり会議」を利用した。情報交換もでき、安心感がある。「〇町〇丁目」は電気がつきました」といった地域の投稿に頼る方が、情報がきめ細やかで早く確認できた。これは新発見だった。

(原口 一哉)



気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svdl/eqev/data/nteq/assumption.html)

ニチユード6以上の地震の2割は日本あるいはその周辺で起きている。特に伊丹市民が警戒すべきは南海トラフ巨大地震だ。この地震は過去おおむね100年〜150年間隔で必ず発生してきた。前回の発生が72年前の昭和21年(1946)であり、今後30年間の発生確率は70〜80%ともいわれる。

その被害を受ける地域が日本列島の広範囲に及び、被災者数も膨大となることが想定され、自分や家族の身を守るためには、各人が備えるしかない。

南海トラフ地震についての情報は、日本周辺のプレート状況(気象庁ホームページ)を参照されたい。市は災害に備え、「防災マップ&

市民べんり帳」を市内全戸に配布しているのを、改めて目を通し、災害への備えが万全かどうか確認したい。もし非常持ち出し袋の準備や食料品の備蓄ができていない人、また、家具やテレビなどの転倒防止を施していない人は、この機会にぜひ準備・実行していただきたい。

消費しながら食料・水の備蓄を 食料・水の備蓄(1週間分)は、消費期限の管理が必要でコストもかかり、面倒だと思われがちだが、ローリングストック法という、上手な方法がある。

自分好みの非常食をそろえておき、定期的な食べながら消費期限の新しいものを買い足していくものだ。これなら食品ロスも減らせる。

飲料水についても一定量をペットボトルで用意し、使ったらその分を買い足していけばよい。

災害時の情報入手が重要 災害時の避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、緊急の避難指示)は原則として、伊丹市緊急災害情報メール、緊急告知FMラジオ、市ホームページ、テレビなどで市民に知らされる。

また被害情報は必要に応じて、市がホームページ上で公開する。みなさんには緊急災害情報メールの登録も使えた。

結局、自宅マンションの停電は3日後まで続き、昼間は実家にて寝るときだけ自宅に帰った。

夜間の明りには、かねて用意していたLEDの懐中電灯を使用。水は携帯ポリタンクを持参して公園で確保する。コンビニではパンや弁当類は早くに売り切れる。私は非常に用いれど、おかずになるレトルト食品をコンビニで買い、電気の復旧した実家でチンして食べた。

もう一つはスマホの充電。近くの公民館のコンセントを使わせてもらったが、ことば蔵でも充電できたと後で知った。

停電解消の情報源は、SNSのフェイスブック地域グループ「伊丹つながり会議」を利用した。情報交換もでき、安心感がある。「〇町〇丁目」は電気がつきました」といった地域の投稿に頼る方が、情報がきめ細やかで早く確認できた。これは新発見だった。

(原口 一哉)

「郷土研究伊丹公論」は、私立伊丹図書館を開設した小林杖吉(筆名「丹城」)が、昭和11年(1936)1月20日に創刊し、19号まで発行された地域紙。ことば蔵では、伊丹公論を73年ぶりに復刊し、伊丹の歴史・文化を全国に発信するため、市民と共に発行しています。



# うまい酒への関心高まる

## 清酒乾杯条例 施行から5年



3市が協同開催の「清酒・日本酒発祥の地フェスタ」=平成26年11月30日、奈良市で

「清酒発祥の地伊丹の清酒の普及の促進に関する条例」(通称「清酒乾杯条例」)が平成25年10月1日に施行されてから今年で5年が経過した。

日本酒全体の消費量は全国的に毎年減少傾向にあるが、この条例の前文でうたわれるように「清酒発祥の地」である伊丹市では、清酒関連のイベントが充実し、人々のうまい酒への関心が高まっている。

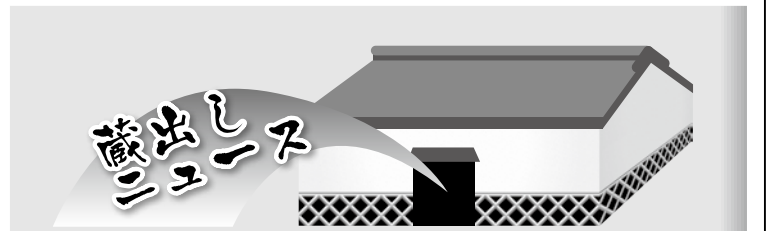
伊丹郷商業会では、三軒寺前広場で「伊丹郷酒ガイド」や「伊丹郷町屋台村」を開催、地元や全国のうまい酒を紹介するなどして日本酒の普及に取り組んでいる。今年で4回目となった「酒ガイド」に参加した丹波杜氏組合の湊洋志さん(45)も、この5年間で市内での日本酒関連イベントへの関心の高まりを体感しているという。

共に「清酒発祥の地」を名乗る伊丹市と奈良市、そして「日本酒発祥の地」を名乗る出雲市が連携した酒のイベント「清酒・日本酒発祥の地フェスタ」を5年前から毎年持ち回りで開催する取り組みも定着。3市にある蔵元が集い、地酒の試飲会を行うなど、3市協同で日本酒の普及に尽力している。

伊丹シティホテルでは、条例制定後、宴会の「飲み放題プラン」で日本酒をオプションから基本メニューに変更。清酒での乾杯を推奨し、「日本酒で乾杯」が増えてきている。

出荷量が減少しているという日本酒の中でも、価格の高い吟醸酒、純米酒の出荷量は増加中。消費者は量よりも質を重視し、うまい酒を求めようになっている。海外でも日本酒人気は高まり、清酒の輸出量・金額は8年連続で過去最高を更新中。訪日外国人の清酒への関心も高い。

伊丹市都市ブランド・観光戦略課では、全国の人に伊丹といえば、「お酒」と言ってもらえるよう、今後イベントなどを通じ清酒の普及に力を入れていきたいと意気込んでいる。



## 帯ワン・MOVIE -ワングランプリ受賞作品決定 ことば蔵コンテスト最高賞決まる

ことば蔵はこのほど、自作の本の帯の出来栄を競う「第6回帯ワングランプリ」の伊丹本屋大賞に伊丹市の山本蒼さん(東中3年)、中井小綾さん(同)、春名舞乃さん(同)、北崎歩果さん(同)の作品を選んだ。

また、好きな映画のキャッチコピーを作った「ムビワン」の最優秀賞に伊丹市の川崎晴友さん(看岡小1年)が選ばれた。映画「ドラえもん」のびのびの恐竜2006のキャッチコピー「おわかれしてもこころがながっているよ。」を選んだ。

11月4日にことば蔵で各賞の表彰式が行われ、帯ワングランプリ伊丹本屋大賞の中井さんは「さくらももこの作品が大好きな人を知ってもらえたら嬉しいです。北崎さんは嬉しかったです。本のタイトルの字を書くのが難しく、苦労しました。ことば蔵賞の中谷さんは「本の良いところを伝えるのが難しかったです。」と声をはずませた。一方、ムビワングランプリ優秀賞の宮本さんは「甲南高校のモットーである、世

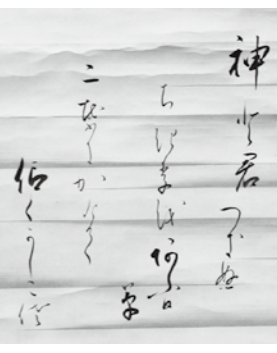
# 伊丹に残る近衛忠熙の懐紙 公武合体に奔走した公家の心境記す

郷土史 ことば蔵 22



今年(1868)は明治から数えて150年(1868)の雪や明治は遠くなりけり」と詠んだが、伊丹にとつて明治は生々しい。明治は近代日本の礎をつくりアジアで先駆的な国家を築き上げた。その一方、古代から続いた朝廷や幕府と呼ぶ国家体制を消滅させた。朝廷の5撰家筆頭、近衛家の最後の人物が近衛忠熙(1808~1898)である。そして伊丹郷町最後の領主となった。

近衛忠熙画像(雑誌『太陽』第4巻第7号より) 博文館新社協力



対応に苦慮した。その慌てぶりを宇治銘茶の上喜撰にたとえ、皮肉った狂歌がある。 (太平の眠りを覚ます上喜撰 たつた四杯で夜も寝られず) 幕府は安政6年(1858)、不平等な日米修好通商条約を結んだ。そして次々とくる列強諸国。その黒船来航から14年の間、幕府の権威はさらに失墜し、政治は混乱を極め逆

近衛忠熙公家祝御詠懐紙 伊丹市立博物館所蔵

あつて忠熙が支える孝明天皇は、(あさゆふに民やすかれとおもふ身のころにかかる異国の船) と詠んだが、その天皇が亡くなる。その中慶応3年(1867)10月、第15代将軍徳川慶喜は、これ以上、幕府による政治は困難と考え、大政奉還を奏上する。政権を天皇にお返しし、その下で徳川を再興する意図があった。忠熙は前土佐藩主の山内容堂などと、その公武合体の実現に日本の命運を賭けた。それは成功するかにみえたが、2カ月後の12月、突如、岩倉具視(公家)や薩長土肥の4藩の倒幕派はクーデターに踏み切った。

忠熙の懐紙(和歌)万葉仮名)が市立博物館に残されている。 葵仁与世亭 祝乃古々路越 忠熙 神登君川支怒 知起季越阿不日草 二葉爾加介天 仰久可之古佐 葵によせて 祝いのこころを 忠熙 神と君つきぬちぎりをあふ日草 二葉にかけて 仰ぐかしこさ 表題の葵は徳川家の紋。和歌にある神は天皇家、君は徳川家を指し、つきぬちぎりのあふ日草は、葵草のことだ。公武合体を願うその思いがいつ作られ、またどのような経緯で博物館に所蔵されたのかは不明であるが、近衛家領地の伊丹で見られるのは感慨深い。

明治天皇は14歳で即位し、都は京都から東京(江戸)に移った。忠熙は遷都以降も京都に留まったが、晩年、天皇の要請で江戸へ移り90歳で死去した。 版籍奉還、四民平等、廃藩置県...。新しい明治維新が幕開けし、伊丹郷町は兵庫県に属した。初代兵庫県知事には長州出身の伊藤博文が就いた。

ことば蔵では、自分で考えた架空の本のタイトルを募集し、グランプリを決定する市民参加型のイベント「第4回タイトルだけグランプリ」を開催中です。 タイトル(15字以内)とサブタイトル(20字以内)、ペンネーム(10字以内)を記載し、来年1月6日(日)までに直接持参 または郵送、ことば蔵ホームページ(下のQRコード)から応募してください。 応募作品はことば蔵1階で展示し、来館者の投票で上位になった作品の中から入選作品を決定します。最優秀賞には5千円分の図書カードを進呈します。



# あったか~い冬の風物詩

## 「伊丹クリスマスマーケット」12月2日開催



昨年のステージの様子=演奏はDA☆LISA吹奏楽団

冬の伊丹の一大イベントといえば、三軒寺前広場の「伊丹クリスマスマーケット」だ。市内の雑貨店による手作り

小物の販売ワークショップなどが行われるほか、飲食やステージでの音楽も楽しめる。

この催しは伊丹市中心市街地活性化協議会が平成24年(2012)に初開催。伊丹では「まちなかバル」など飲食中心のイベントが多く、物販のイベントがなかったことから企画された。

参加店舗は最初18店舗だったが、回を重ねるごとに増え、昨年は36店舗と初の2倍の規模となった。今年はいースト菌を使ったパンのような食感が

話題のドーナツ店「SHIGMA DAUGHNUTS」や、木製雑貨・家具のお店「アラウンドM」、神戸元町の服飾雑貨セレクトショップ「SeaSoah」など、7店舗が初出店予定。物販27店舗、飲食店8店舗の合計35店舗が集結する。

ステージでは、伊丹市を中心に活動しているDA☆LISA吹奏楽団による、クリスマスソングメドレーなどが披露される予定だ。「物販も飲食も一致団結してま

ちを盛り上げていきます。大人から子どもまで楽しめる企画がいっぱいなので、是非お越しください」と、担当者はアピールしている。

12月2日(日)午前9時から開催(荒天中止)。問い合わせは伊丹まち未来株式会社☎072・773・8885へ。

## 現代人物風景



小西家提供

今年7月、スペインで開かれた第7回ポールスポーツ選手権大会のノービス(10~14歳)女子部門で見事、銅メダルを獲得した。この部門では日本人初の快挙だった。

小学2年から新体操を続けているが、小学5年のとき、ポール・スポーツをテレビで見ると魅せられ、さっそく大阪にある教室に入門。月の半分は教室に通って猛練習を続け、めきめき上達した。

ポール・スポーツは、長さ4mの垂直の棒2本を使

## 夢は五輪メダリスト

### ポール・スポーツ世界大会3位 小西 沙和 さん(13)

い、技の完成度や芸術性などを競う競技。棒は「スタティック」と呼ぶ固定式と、「スピニング」と呼ぶ回転の2種類があり、スタティックで静止ポーズを決めスピニングで力をかけ、くるくる回る。

沙和さんが出場した部門は、音楽に合わせて3分半以内で9つの技を披露。新体操のように体を曲げ、美しさ、華やかさをアピールした。得意技は、難易度が高く世界でもできる人の少ない「フィッシュ」。これを見事に決めた。ただ、全体的には「緊張もあって普段の力を出し切れなかった」と悔しさを口にした。

2012年のロンドン五輪エキシビジョンイベントとして初の世界大会が催され、競技人口は世界で100万

人、日本でも1万人を数え、年々増えて国内でも人気は広がっている。

日本ポール・スポーツ協会は、国際ポール・スポーツ連盟と連携して、オリンピック種目入りを目指している。「全日本ポール・スポーツ選手権大会」が毎年開催され、多くの日本選手が育ち、世界へ送り出されている。昨年度は25人が世界大会に参加した。

同年代の選手より小柄で筋力も劣るが、人一倍の負けず嫌いで、今後の目標について、沙和さんは「あと2回はノービス大会に出られる。そこで世界1位になりたい。将来、オリンピック種目になったらメダルを取りたい」と意気込んでいる。

この選手からは目が離せない。

(原口 一哉)

### 郷土産物総介

## もう1つ食べたくなる「どらやき」



JR伊丹駅西側の伊丹郷町通りに、どらやきの店「キツネイロ」が、昨年11月23日にオープン、今も根強い人気を誇る。

店主の田中純子さん(35) 写真

「森のおはぎ」大阪の「森乃お菓子」に続き同店が開店した。田中さんは、学生時代は栄養士の勉強をしていたが、子どものころから大好きだったどらやきの店をいつか開きたいと思っており、これまで飲食店や「森のおはぎ」で修業を積み、この店を任されるに至った。

「森のおはぎ」の常連客がSNSで発信したのでオープン初日から大盛況。その後も連日行列ができて、さまざまなメディアに取り上げられ、有名に。今では関東や九州からも買いにくる人がいるそうだ。

店の名前は、どらやきの皮がこんがり焼けたイメージのきつね色から付けられた。暖簾には「キツネ」と、難を転じる意味の「南天」があしらわれている。

オープン準備期間から通う近所の

常連客も多く、地域の人から愛される店としてすっかり定着。田中さんは「今後も妥協せず、ていねいに作ることをモットーに、精一杯やっていきたい」。

1日に約800個しか作れないため、午前9時から整理券が配布される。キャンセルが出る場合もあるので、電話で確認されることをおすすめしたい。

どらやき6種類セットは1200円前後(税込)で、1人2セットまで販売。森のおはぎも同店で購入可能。

どらやき キツネイロ  
伊丹2丁目3-20-101  
10時~18時 月・火曜定休  
☎072・768・9158

(龍田起代子)

## 老舗探訪

### Weinhaus HINODE (株式会社日ノ出)

伊丹市南野6丁目2-23 ☎072-770-0668



時代の流れでまちの酒屋さんが減ってきているが、伊丹市南野にあるWeinhaus HINODE (株式会社日ノ出)は、全国からお客が集まる元気な酒屋さんだ。

店主、桑山貞彦さん(48) 写真

「創業60年のこの店の3代目。店に並ぶのは、「完成度が高くおいしい酒」ばかり。ワインはすべてヨーロッパ産で、店主が現地に行って味を確認済みの逸品だ。また、日本酒は店主の目利きにより、全国の蔵元と共同で作上げたものだけを販売している。ワインは一本2000円台後半、日本酒は4合瓶で1000円台後半程度からある。

通販での発送も行うが、基本は対面販売。人とのコミュニケーションを大事にしており、会話の中からその人に合った酒を選んでくれる。口コミでの来店が多いそうだが、酒に詳しくない人も気軽に来店されていると店主は言う。

店内には、日本酒の会やワインの

会を開くスペースがある。同じ銘柄なら栓を開けて飲めば誰しも同じ味を感じると思われがちだが、その味は様々な変化に富んでいる。このような楽しさは言葉だけでは想像できない驚きがあり、それを伝えるために開催しているという。この会では、あつと驚く、酒の楽しみ方が経験できる。

「おいしい酒の飲み方や楽しみ方は想像を超えて果てしなくあり、一度の来店では到底経験しきれないものではない」と店主。だからこそ来店のために発見があり、この発見や経験を求めて、全国から来店があるのだ。6年半の間、東京から毎月、日本酒の会に参加したお客さんもいたそう。

日本酒の会やワインの会は、店主催のものだけでなく、個人でも開催できる。詳しくは電話で問い合わせを。

(細尾 哲也)



### 伊丹俳壇

「十一月」坪内稔典 選  
(佛敎大学・京都敎育大学名誉敎授、  
柿衛文庫理事長)

最優秀賞

原子炉のやうな子を抱き十一月  
小田 龍聖 (兵庫県明石市)

原子炉のやうな子、という比喩が大胆にして新鮮。エネルギーにあふれ、しかも危険でもある「原子炉のやうな子」がおだやかな小春日の中にいる。その子を抱く者(母、祖母など)は原子炉以上の存在かもしれない。

優秀賞

古傷の疼く十一月の朝  
小田 虎賢 (兵庫県明石市)

十一月シニアに結ぶ赤い糸 春 蘭 (伊丹市)  
十一月サーカス町にやって来た 屋敷きよみ (伊丹市)  
兄の家解体決まる十一月 知地 一代 (神戸市西区)  
離乳食十一月の献立表 渡辺 啓子 (神戸市西区)

### 伊丹歌壇

「動物園」尾崎まゆみ 選  
(玲瓏) 選者 神戸新聞文芸短歌選者、  
現代歌人協会会員

最優秀賞

象のいびきZOOにひびきて精霊の野生浸みゆくまほらの間に  
藤田 晋一 (宝塚市)

夜の動物園は昼間とかなり違う。象のいびきZOOにひびく音の似ている言葉を重ねて情景を描写し、夜をまほらの闇とする。まほらは美しい場所。象のいびきの放つ野生が、夜を浸す。

優秀賞

囚われた動物園の檻からは人間といふ動物見える  
高山 葉月 (尼崎市)

史実にはないが優しい字名主いたかもしれぬ象園の午後  
堺 紀彦 (滋賀県高島市)

麒麟の糞くさいくさいと園児らの声閉じ込めた秋の印画紙  
小林 礼歩 (東京都西東京市)

バンドでも太いしっぽで立ち上がるレッサーパンダの立ち位置はどこ  
河野多香子 (東京都千代田区)

鳩のことばかり話して甥っ子は動物園は楽しいと言ふ  
近藤さつね (群馬県高崎市)

### タンジョー先生 はやしやよい



林やよい  
伊丹市在住。毎日新聞兵庫版にイラストエッセイ「くるまいますまい」を連載中。

## 女性に宛てた芭蕉の手紙発見

### 芭蕉だって女性に甘えたい!

俳聖・松尾芭蕉は、約250通の手紙を残しているが、今年6月に京都市在住者から「新たな手紙では」との情報提供を受けた柿衛文庫が、弟子の河合智月(女性)宛ての手紙と確認した。柿衛文庫は秋季特別展「芭蕉の手紙」(10月6日〜11月11日)でこれを公開した。

近江滞在中の芭蕉を家族ぐるみで世話していた。智月に宛てた手紙はこれまで5通見つかったっており、これが6通目だが、今回発見された手紙が一番長文だ。

手紙には、茶を送ってもらった礼や智月の弟、乙州荷問屋の従業員に世話になったことへの礼、自身の体調などが書かれている。

芭蕉は、別の友人宛てに江戸で飲む茶がいまひとつおいしくないと手紙に書いており、上方の茶が好みだったようだ。わざわざ関西の茶を取り寄せていたのかもしれない。

芭蕉は、他の手紙でも智月に近江の酒を送ってほしい、冬の備えに紙子(和紙で作る着物)を早く縫って送ってほしいなどの無心もしている。面倒見のいい智月に心を許していたのだろう。芭蕉は痔を患い、その病状まで智月にしばしば知らせていた。そのため智月は座布団を作った芭蕉に送ったりもしている。

芭蕉が残した手紙からは、様々な人が芭蕉を気遣い世話をしたり、芭蕉を訪ねたりしていたことが伺える。

芭蕉は江戸・深川の家を売って旅に出た。旅する俳人という生き方、

その精神への憧れが多くの人を惹きつけたのだろう。芭蕉の生き方を支え、支えた人たちの手紙は、芭蕉の人柄に触れる貴重な資料だ。

芭蕉は門人同志の人間関係のいさかいを仲介するため訪れた大阪の地で「旅に病んで 夢は枯野をかけ廻る(めぐる)」という句を残して51歳で亡くなる。

亡骸は遺言どおり、思い出深い大津・膳所の義仲寺に葬られたが、葬儀に際して、芭蕉の浄衣を縫ったのは、あの智月とその弟の妻であるおせきだった。

芭蕉が智月に送った手紙は、柿衛文庫で販売している図録「芭蕉の手紙」(税込2千円)に写真で収録されている。

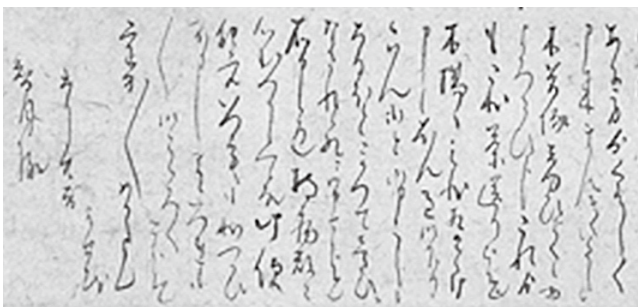
和歌山県の龍神温泉と湯の峰温泉に行った。人に追いつけなかった。人がこんなには孫みたいな人ばかり。若い人がこんなにはやさしいとは思わなかった。でも、いいですね若い人は。体の線がよくて美しい。だいたいおっぱいがちがう。ピンと張って上向いている。一方の私はホロリ、タラリ。「先輩の四角い」「仮面ライダーみたい」などと言われそうだが、あまり気にせず楽しい夜を過ごした。

伊丹に帰って銭湯に行った。大きな鏡に自分の体を写すと、ふとあの「四角いおっぱい」の記憶が蘇ってきた。なるほどなあ。肋骨が見えて、おっぱいが肋骨に添っているの

四角いのだ。しみじみと見たことがなかったので思わず、うふふははと笑い止まらなかつた。帰り道で若いころのことを思い出す。子育てをしているときは十分過ぎるほどお乳が出た。子は飲みきれなく、湯呑み茶碗に受けて庭の無花果の木(いちじく)の根っこによく流した。

今は「四角いおっぱい」だが、あの時はパンパン、ビューのおっぱいだつたのだ。「ヨセテヨセテ アゲテ」「ヨセテヨセテ アゲテ」のプラに助けられています。

(平 きみえ)



芭蕉筆智月宛ての手紙 (個人蔵)

芭蕉は江戸・深川の家を売って旅に出た。旅する俳人という生き方、その精神への憧れが多くの人を惹きつけたのだろう。芭蕉の生き方を支え、支えた人たちの手紙は、芭蕉の人柄に触れる貴重な資料だ。



(丸 晴子)

#### ▼日本酒がうまい季節

今夏は記録的な暑さだったが、ビール類全体の消費量は、さほど伸びなかったようだ。季節は巡って食欲の秋そして日本酒のうまい秋がやって来た。この秋収穫されたコメで醸された新酒はこの季節にしか味わえない。ただ日本酒と言っても種類がやたら多く、どのように飲んでいいかわからないという人も

いる。そこで、拙者から日本酒を飲む順番を指南させていたこう。

▼飲む順番I

①大吟醸系・スパークリング系②吟醸系・本醸造系③純米吟醸系④純米系⑤山廃・生酛系⑥熟成酒系⑦というの一般的な。軽い味から徐々にしっかりした味のものと並べられている。料理と同じで、先に味の濃いものから口にすると、その後の酒の味わいがわかりにくくなってしまふからだ。

拙者も基本的には、これを守っている。ただ、濃い味の日本酒に移ったあと、再びさっぱりした味に戻りたい時もある。結局は、延々と飲みたいだけなのだが・・・(汗)。もちろん、①から⑥までの酒をすべて飲まなければならないわけではない。あしからず。



(ときわ喜多)

▼飲む順番II

別の観点から、よく言われるのが、北から南へと日本列島を降りていく①北海道・東北②関東・甲信越③中部④近畿⑤中国・四国⑥九州などという順番。一般的に、北の方がさっぱりしたものが多く、南に行くほどしっかりした味わいのものが多くなることによる。

ただ、これも①から⑥まですべて飲まなくていい、というのは言うまでもない。

### 元かみの きまぐれ くらム

#### 四角いおっぱい

四角いのだ。しみじみと見たことがなかったので思わず、うふふははと笑い止まらなかつた。帰り道で若いころのことを思い出す。子育てをしているときは十分過ぎるほどお乳が出た。子は飲みきれなく、湯呑み茶碗に受けて庭の無花果の木(いちじく)の根っこによく流した。

今は「四角いおっぱい」だが、あの時はパンパン、ビューのおっぱいだつたのだ。「ヨセテヨセテ アゲテ」「ヨセテヨセテ アゲテ」のプラに助けられています。

(平 きみえ)

